

下野市の小中一貫教育

小中連携教育を強化し、9年間を見通した教育活動を、より一層進めていきます

しもつけワイズ

「正解は③」

詳しくは、21ページをご覧ください。

小中一貫教育開始に向けて

下野市では平成20年度より、小中連携教育を進めて参りました。これまでの小中連携教育における成果や課題をもとに、今後更に連携を強化した教育活動を進められるよう、平成31年度から小中一貫教育を各中学校区で本格始動します。9年間の育ちと学びをつなぎ、子どもたち一人ひとりのよさを最大限に伸ばす教育を推進していきます。

■各中学校区における取組

今年度から中学校区ごとに「小中一貫教育の日」を設定し、教職員が一堂に会した研修会を実施しています。

小・中学校をつなぐ学習や生活について、教職員がつながりを意識しながら指導できるよう、体制づくりを進めています。子どもたちが安心して学校生活を送れる環境を整えていきます。

■市学校教育目標の実現

小中一貫教育は、下野市の学校教育目標を実現するための手段です。各中学校区で「めざす子どもの姿」を設定し、9年間の教育活動を見通して行う教育です。

○下野市学校教育目標（キーワード）

- ・学力の向上
- ・豊かな心の育成
- ・心身の健康維持
- ・職業人としての基礎の育成
- ・人や社会とかがわる力の育成

■下野市小中一貫教育通信

市教育委員会では、平成31年度から始まる小中一貫教育の方針や取組をまとめ、市内小中学校の全児童生徒を通して各家庭に配付しました。

■問い合わせ先

学校教育課 ☎(32)8918

中学校区ごとに、 目指す子どもの姿が同じになります

- ◇各中学校区で、目指す子どもの姿を共有し、9年間を見通したつながりのある教育活動を行います。

小学校と中学校の先生が、 さらに連携して取り組みます

<取組例>

- ◇9年間を通して、一人一人の子どもと、きめ細やかに関わります。
- ◇授業の進め方や家庭学習のやり方等を小学校と中学校の先生と一緒に考えます。

子どもたち一人一人の可能性を
最大限に伸ばします

小学生と中学生が さらに交流します

- <小学生と中学生の交流例>
- ◇子ども未来プロジェクトの交流活動
- ◇小学生の中学校体験
- ◇小中学生合同の英語授業等
- <小学生と小学生の交流例>
- ◇校外学習の合同実施
- ◇臨海自然教室での一部同じ活動を実施
- ◇音楽・演劇鑑賞会の合同開催等

今までどおり、 変わらないこともあります

- ◇小学校と中学校の施設（校舎等）は、そのまま使用します。
- ※南河内中学校区は、施設一体型の義務教育学校になります。
- <2022年開校予定>
- ◇各学年の学習内容は、これまでと変わりません。